

2023.8.31

広報委員会委員長 岩崎真樹

### 特別例会 2023「パーキンソン病とムクナ豆 第2弾」ご報告

特別例会 2023「パーキンソン病とムクナ豆 第2弾」は盛況のうちに終わりました。

当日参加は140名でしたが、アーカイブ希望の方も多く、トータルの参加申込者は175名でした。

会は、金井先生の事例報告、山口先生の栄養と運動のお話から始まり、教育講演の野元正弘先生は主張先のコペンハーゲンからの参加であり、パーキンソン病患者さんたちもパリ、カナダ、アメリカ、インドネシアと世界各国から参加してくださり、リモートの特性を活かした会議となりました。野元先生の講演はパーキンソン病の基本的な代謝のお話から、ムクナ豆との向かい方、ムクナ食品の工夫など分かりやすく纏めてお話し頂きました。第3部の三浦先生の講演は、ムクナ豆とは何か、その由来から始まって、日常どう付き合うかを情熱をもってお話になり、第4部の総合討論へとつないで頂きました。そして、事前の質問にお答えする中で、L-dopa だけではないムクナ豆の多様性について話しが盛り上がりました。

その中で、昭和大学名誉教授で PNP-14( $\alpha$ -シヌクレイン)の発見者である中谷一泰先生はムクナ豆が免疫を調整するというご自分の研究をコメントしてくださいましたし、東京農工大名誉教授で「ムクナ会」会長の藤井義晴先生はあらゆる質問に答えてくださいました。Closing Remark では、顧問の湯浅先生からは、ムクナ豆は単にドーパの補充を目的とするものではなく、免疫を含めた多面的な働きに注目すべきであるとコメントされ、そこに、鍼灸とムクナ豆が結びつく謂れがあると結びの言葉を述べられました。